



原 鉄次さん  
(平和台)

昨年10月に退任となった我々選挙管理委員会のメンバーは、平成22年9月に行われた町議会で選任され、昨年10月6日までの4年間の任命をいただきました。

選管委員は、古越政次職務代理(馬瀬口)、清水絹子委員(草越)、内堀志通彦委員(塩野)と私の4人で、補充員の井出多賀得氏、内堀保則氏、田村征子氏、田中義信氏の4名の皆さんと一緒に「明るい選挙と投票率の向上」を目標に努めさせて頂き、無事に任期満了で退任することが出来ました。

選挙投票日の町内15投票所の投票管理者をはじめ、立会人・事務従事者の皆様には朝早くから遅くまでの長時間にわたり、本当にお世話になりました。また、選挙前に各投票所で必要な諸用具などの準備、後片付け等をされた臨時職員の方たちへも、この紙面をお借りして厚くお礼と感謝を申し上げます。

我々任期中は、3・11の東日本大震災と津波による福島原子力発電所事故等と色々な災害の中、国政の衆・参議院、県政の知事・議員、そして町の町長・議員、さらに農業委員と多くの選挙を執行してまいりました。

平成15年からは期日前投票制度が創設され、この年に私は選管委員に任命されました。

役場のロビーに投票所を設置し、投票に来られる皆さんの顔を見ながら「礼に始まり礼に終わる」挨拶と会話で、投票所の雰囲気をも明るくするように心がけ、投票率の向上に努めてきました。

私は、平成12年に退職し、30数年の単身赴任に終止符を打ち家族の待つ御代田町

に帰ってきました。

平成14年9月に選挙管理委員会補充員となり、平成15年12月に委員に任命され、委員として10年10カ月間大過なく任務を全うできましたことは、歴代の選挙管理委員会事務局の皆さんはじめ、町役場職員の方のご支援・ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

最後になりましたが、町民の皆さん、投票率向上のため選挙には必ず投票に行こうではありませんか！

平成15年からは期日前投票制度が創設され、この年に私は選管委員に任命されました。



いくつになっても挑戦

認知症の予防

るようになったのです。

私はこの講座に数年通いました。ある年の秋の大学祭にこの生涯学習講座も参加し、一人ずつ大勢の学生や市民の前で歌いました。仲間同志で、男性は四大テナー、女性はマリアカラスなどとふざけ合いながら楽しく歌うことができました。頑張って歌詞を覚えたことが人前で歌うことの力になったということ。

人は何才になっても新しいことを始めることができます。新しいことを始めるのは脳の活性化に繋がると言われています。いつまでも健康でいられるように、自分の好きなこと、やりたいことを見つけて挑戦したいものです。

私は歌を歌うことが好きです。70才を過ぎた頃、新聞の折り込みに、ある私立大学の生涯学習講座(1講座は8回の授業、年2回の講座が開催される)の生徒募集の広告がありましたので、私は早速申込みました。講座の参加者は60才以上の男女15人位でしたが、多くは以前からその講座を受けている人達でした。

大声で歌う約2時間の授業は大変楽しいものでしたが、授業の終わりに「来週までに歌詞を覚えてきて下さい」と言われるのです。これは私にとってはとても大変なことでした。歌詞を紙に書き写し何回も何回も繰り返すのですが、若い頃と違い頭に入らないのです。でも同じことを繰り返していくうちに少しずつ覚えられるようになり、数週間後には見ないでも何とか歌え



奥田敏治